

# sorEgOcco

【ソレココ】第22号  
2014年10月発行  
<http://www.lohas-clips.com>



あの人の  
ロハスなストーリーを  
聞いてみたい！

## 対話の輪を広げ セクターをつなぎ イノベーションを興す

### 第7回(1) 野村恭彦さん (株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役 社長)

東日本大震災からすでに3年が過ぎ、4年目の年もまた寒い冬がめぐってきます。さまざまな地域ごとの事情はあるにせよ、当初、時間がかかると思われていた「対話の場づくり」によるまちづくりをしてきた地域のほうが、結果的にはスピードの速い実効性のある復興につながっていると、対話の重要性が再認識されつつある昨今です。

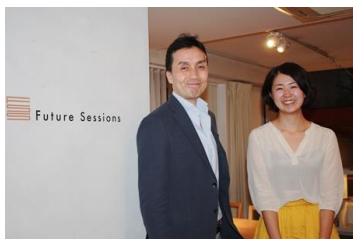
ロハスな暮らしには、すべてのものとのつながりや循環を意識することが必要だと考えています。今回は「時間と空間の共有——対話」「つながり」についてお聴きたいと思い、野村様をお訪ねしました。

### 自分たちが本当に欲しいものをつくる それがイノベーション

東日本大震災が起き、東北に関わるようになるまで、僕は大手企業に勤務していました。それまでは、大企業がビジネスやサービスを興すことが世の中を作っていくことになると素直に思っていましたので、大企業が変われば世の中が変わると思っていました。

しかし、現地の経営者から、「実際に震災のようなことが起きてみたら、これまでは自分の足で立っていると思っていたけれども、何もかも失ってみたら、自分たちでできていることなど何もなくなくなったことに気がついた」と。そして、「まちをゼロから作り出そうとして、初めて地に足が着き、自分たちが自分たちの力で生きていくと実感し始めている。だから他から来る人たちには、かわいそうだからと言って来てほしくない。こういう貴重な体験と一緒にするチャンスだと思って来てほしい」という言葉を聞き、イノベーションってこういうことだと思いました。

単に新たなものを生み出すだけではなく、自分たちの欲しいものを自分たちの手でつくるというのは、こういう発想の中から生まれるものなのだと気がつきました。自分が自分自身に嘘をつかず、健やかに、素直に。我慢するのではなく、まわりにとってもサステナブルな(持続可能性のある)社会にしたいと願い、自分たちの欲しい未来を自分たちでつくり出せるといいと考えました。



株式会社フューチャーセッションズの野村恭彦さん、芝池玲奈さん

僕自身は企業とのネットワークはあるので、地域の人たちや、社会起業家、行政の人たちなどの真ん中に立って、すべての人をつなぐ場所にビジネスを作りたいと思い会社を作りました。その領域はまさに NPO の領域で、そこに事業者はいなかったんですね。ご高齢の方に「えらいわねー仕事辞めてこんなことやってみて」と言われたり(笑)。しかし このこと自体をビジネスとして成長させて、「食べていける」ファシリテーターを増やしたいと思っています。現段階ではどうしてもボランティアの人が多いです。プロフェッショナルという人が少ない。ファシリテーターがいなくてうまくいかないという声も聞きますが、ファシリテーターかもしれない人が、今あるスキルを持ってどこでもうまくいくわけではないですね。地域の課題に取り組むなら地域のことがわかっていないと難しいし、企業のことをするなら企業のことがわかっていなくてはならない。いくつかの要素が揃わないとうまくいかないと感じます。僕たちは、従来のコンサルタントや広告代理店などに代わって、対話とファシリテーションで未来をつくり出す勢力になりたいし、例えば、地域のブランド作りは、地域の人たちとの対話によって生み出せるようになりたいと考えています。

### 課題の解決に認識のイノベーションを

世の中にある課題は、分断していることで起きているという場合がけっこうたくさんあります。例えば、子育ての課題を、当事者だけで話していても何も解決しなくて、当事者と非当事者が一緒に対話し理解し合うことで前に進むことが少なくありません。そこがつながってくると、意外にそれは問題ではないことに気がついたということもあります。これは、認識のイノベーションです。高齢社会、長生きしている人が大勢いる、いいことだ、という発想が変わると、新しい可能性が発見できます。対話から新しい価値観をいっぱい見つけて心地いい社会をつくり出せると思います。

さらに深いお話が次号に続きます。(店長・林美栄子)

フューチャーセッションで 講師・ファシリテーターは野村恭彦氏  
世田谷のまちづくりの未来を考える (申込不要参加費無料)  
日時:2014年10月25日(土)13:30-16:30  
場所:三茶しゃれなあどホール (区役所三軒茶屋分庁舎5階)  
【第一部】レクチャー  
フューチャーセッションって何だろう?  
【第二部】セッション  
世田谷の未来を考えるフューチャーセッション

主催:一般財団法人世田谷トラストまちづくり 03-6407-3313

### 【ダブルチャリティ・寄付について】 ~ソレココ 私たちにできる小さな一歩~

Lohas-Clips でお買い物をしていただくと、購入金額の3%が Lohas-Clips のファンドとして積み立てられます。その資金は、困難な状況にある子どもたちを支援する活動や、子どもたち自身が企画する平和や社会貢献活動をサポートしていくことになります。Lohas-Clips が扱うソレココ商品は、作っている人も使う人も、みんなが笑顔になるストーリーが詰まっているものばかり。小さなお買い物で、作った人たちの生活が変わる。小さなことだけれど、地球の生命や環境保全につながる。そして購入金額の3%が寄付になる。ソレココは誰もが参加できるみんなの未来をよくする一歩です。「ソレなら ココで 買おう!」と思っていただけなら幸いです。



ニュージーランドで  
自給自足を目指そう！

ワットめぐみ

ニュージーランドは日本と同じくらいの面積ですが、人口はその30分の1ほどです。都市部に人々は集中しており、ちょっと郊外に出ると閑散・・・、という所も多いのですが、そんな所には牧場や農場が広がっています！つまり土地に余裕があるので。

一般家庭の庭は、基本的には広く少なくとも猫の額、というイメージはありません。そこで我が家の例ですが、この庭も結構広いのです。ただ、北側の場所が狭く、野菜や花を育てるには、ちと不向き。(注・NZの北は、日本の南と同じ意味です)しかし最近、私はこう決断しました。工夫して、野菜を育ててみよう、と。こう思った経緯はこのような感じでした。

昨年は試しにプチトマトとネギを栽培してみましたが、それが意外にもよく育ち、なかなかの結果になりました。NZ人の

夫が子どもの頃は、庭に自分用の菜園があり、そこでいろいろな野菜を育てていました。つまり彼は、どんな物がどのように育つか大体分かっています。そして彼は何かにつけて、育てたい育てたいと言っていました。しかし、私の場合は、野菜栽培経験がほぼ無かったのです。

結婚後しばらくしてNZに移住しましたが、ここで野菜や果物が結構簡単に育つことを学び、更に最近、子どもの手が次第に離れてきたことから、いっちょやってみようかな！という気になりました。家庭菜園なら子どもたちとできるし、家計にもやさしいだろうと思ったので！

こんな私のヤル気を見て、夫がさっそく野菜の種をオーダーしました。その種は、大豆、しそ、水菜、トマト、キュウリです。これらはNZ国内で取り寄せることができ、更にオーガニックなのです！！

今は、発芽させるための小さな鉢を、タダで収集しています。買えばいいかなと思っていましたが、夫はプラスチック容器を集めればいんだよ、と教えてく

れました。例えば1キロ入りのヨーグルトの容器、ジュースや牛乳のプラスチックボトルなどです。これらはかなり大きいので、半分に切っていますが、それらはしっかりした物なので利用できます。ごく最近小学校からも、空き缶を持ってくるようにと言われました。その中でハーブを育てるらしいのです。種まきはこれからですが、どうなるかとても楽しみにしています！



写真は、キッチンで育てたアルファルファです。冬は野菜が高騰し、また安全な野菜が手軽に作れるため、我が家ではよく育てています。

川崎市出身。NZとは留学やワーホリ、結婚などで20年ほどのお付き合いです。NZ人の夫、6歳長男、4歳長女、1歳次男の5人家族。気の合う義母に恵まれて、NZライフを満喫中！自宅ワーキングホリデー・ホームステイ&サポート <http://www.workingholidayexpress.com/> ホームステイ留学 <http://nzryugaku.jp/> しています！



Pick up!

未来のためにできること！

インド南部の伝統技術を用いたハンドメイドのおもちゃ「マヤオーガニック」

100%自然塗料  
ハンドメイドの  
おもちゃ

街の色も、秋色になってきましたね！ゆったりと季節の移り変わりを楽しみましょう♪  
今号では、100%自然塗料で仕上げた安全・安心なハンドメイドのおもちゃ達をご紹介します。  
職人の手で一つ一つ丁寧に作られるハンドメイドのおもちゃには、子どもにも地球にも、作り手にも優しいこだわりがありました。

【推奨年齢:12ヶ月〜】

◆ENGINE(エンジン) 2,808円(税込)  
プッシュトイとしてだけでなく、積木の要素ももっています。本体は大きな5つの積木からなっており、易しく積むことができます。サイズやバランスを学ぶ教育玩具として人気です。

◆CUBBY(カビー) 2,808円(税込)  
5つの様々な色で構成された輪積み木です。こどもは、1から5を数えて大きい順に積み、サイズと数だけでなく、色の認識やバ

ランスを学ぶ教育玩具として人気です。

【推奨年齢:18ヶ月〜】

◆TUTTU(トゥトゥ) 2,160円(税込)  
赤ちゃんに人気のプルトイ。紐を引っ張れば、背中の甲羅が回転し美しい模様を描きます。大人までをも魅了する人気商品です。

◆MAMEPA(マメパ) 4,104円(税込)  
マ・メ・パは、トゥトゥの家族。マはママ(MAMA)、メはボク・わたし(ME)、パはパパ(PAPA)。3人そろって背中の甲羅が回転し、仲良く美しい模様を描きます。

【推奨年齢:36ヶ月〜】

◆PEPPY FIVE(ペッピー・ファイブ) 3,888円(税込)  
色ごとに積んだりはずしたりすることで、数の増減を習得する教育玩具です。「数え」と数の「概念」を学ぶのに最適です。



【マヤオーガニック】

1989年に児童労働に反対するNGOとしてインドで設立されました。児童労働の根絶を目的に活動し、貧困層の子どもたちが就学できるよう様々な支援をしてきました。そして今ではより根源的な貧困問題を解決すべく、親に職業訓練をし、技術を習得してもらい、生産やデザイン、マーケティング、流通を支援し、公正な取引の仕組みを確立しました。

編集後記

今号でご紹介した「マヤ・オーガニック」の木のおもちゃ。ひとつひとつ全部手作り！ツルツとした艶と自然の色がきれいで、小さな赤ちゃんがお口に入れても安心の素材が使われた、ギフトにぴったりのおもちゃです。ショップサイトでは、例えばプルトイなら、ひっぱるとどう動くか？ということがわかりいただけるよう、動画を掲載しています。ぜひチェックしてみてくださいね。(スタッフ・古川)

【ロハス・フレンド会員募集中！】

ロハス・クリップスでは、お買い物しやすく、様々な特典が受けられる「ロハス・フレンド会員」を募集しています。登録は無料。Webサイトからどうぞ。

【発行】 合同会社チルドレンズ・ビレッジ

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 7-17-1-303 tel:03-6796-2713 <http://www.lohas-clips.com>

「ロハス・Lohas」とは、Lifestyle of Health and Sustainability の頭文字をとった略語で、環境や周囲に配慮し調和しながら、健康的で、無理なく持続できる社会生活を心がける生活スタイルのこと。Lohas-Clips では、さらに、「人や生物とのつながりに感謝し、地域の一員として、社会人として、そして地球に生きる人として、みんなでわかち合いシンプルかつ心豊かに暮らせること」をイメージしています。